

# 浦和フィルハーモニー管弦楽団

## 第74回 定期演奏会

### ～浦和の第九 2025～

2025年5月3日(土・祝) 13:15開場 14:00開演

さいたま市文化センター大ホール

指揮 佐藤寿一 (当団音楽監督)

合唱 さいたま市合唱浦和の会 ～浦和の第九 2025合唱団～

独唱 西本真子 (ソプラノ) 牧野真由美 (メゾソプラノ)

村上公太 (テノール) 原田圭 (バリトン)

ロッシーニ 「セビリアの理髪師」序曲

ベートーヴェン 交響曲第9番

全席自由 1,500円 (前売り1,000円)

チケット発売開始 2025年2月1日 (土)

・学生 (小・中・高・大学生等) 用に無料席を用意いたします。  
お申し込み方法は裏面をご覧ください。

#### 〈チケット取扱〉

◆ (公財) さいたま市文化振興事業団 <https://p-ticket.jp/saitama-culture>  
SaCLa (サクラ) インフォメーションセンター 048-866-4600

さいたま市文化センター 048-866-3171

など さいたま市内10施設

(2月1日 (土) 10時インターネット予約のみ受付開始、  
窓口での販売・受取は2月2日 (日) から)

◆ チケットお申し込みサイト teket (テケト)  
<https://teket.jp/5697/44901>

#### 〈お問い合わせ〉

浦和フィルホームページ <https://www.urawaphil.com/>

浦和フィル事務局 庄子 (しょうじ) 070-5452-4754



・未就学児の入場はご遠慮ください。  
なお会場に有料の臨時託児所を設けます。  
ご利用される方は裏面をご覧ください。



## 指揮 ● 佐藤 寿一 (当団音楽監督)

仙台市生まれ。埼玉大学教養学部卒業。はじめ哲学コースで音楽美学を専攻するが、のちに指揮に転向。指揮を小松一彦、高階正光、前田幸市郎の各氏に師事。これまでに山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、サヴァリア交響楽団（ハンガリー）、カンナム交響楽団（韓国）、国立台湾交響楽団青年部などを指揮。1998年から2004年まで山形交響楽団指揮者。また、オペラ分野では東京室内楽歌劇場その他オペラの副指揮・指揮や文化庁主催・歌座『うたよみぎら』公演の指揮兼打楽器を務めた他、モーツァルト作曲『フィガロの結婚』、フンパーディンク作曲『ヘンゼルとグレーテル』、林光作曲『あまんじゃくとうりこひめ』では指揮とともに演出も担当し好評を博す。2013年5月には、ニューヨーク・カーネギーホールで『第九』その他を指揮し、現地の合唱団・オーケストラと日本から参加した障がい者を含む合唱団とが一体となった演奏は、満席の聴衆からの熱狂的なスタンディングオベーションという大きな成功をおさめた。

浦和フィルハーモニー管弦楽団においては1986年の創立以来、音楽監督としてともに活動を展開しており、2001年から2005年にかけて行われた「彩の国シューベルト・シリーズ」（シューベルトの交響曲全曲演奏プロジェクト／埼玉県芸術文化振興財団＝諸井誠芸術総監督（当時）＝制作）の指揮、2006年の浦和フィル創立20周年記念公演『カルメン』の指揮・台本・演出などが好評を得ている。またスクリャービン作曲『交響曲第一番《芸術賛歌》』を取り上げるなど世界的に演奏頻度の低い曲にも力を入れ、浦和フィル×佐藤寿一による歴史に埋もれた曲の発掘を〈セリエ“S”〉としてシリーズ化し、音楽史に新たな光を当てている。



## ソプラノ ● 西本 真子

武蔵野音楽大学首席卒業、同大学大学院首席修了。これまで50を超える数多くのオペラで主要な役柄を演じ、情熱的な歌唱と美しい舞台姿で人気を博す。またベートーヴェン『第九』モーツァルト『レクイエム』ハイドン『ネルソンミサ』メンデルスゾーン『ラウダ・シオン』ヴェルディ『レクイエム』等のソリストも務め、いづれも好評を得る。国外でもフィリピン国立劇場『蝶々夫人』シンガポールリリックオペラ『蝶々夫人』中国貴陽市交響楽団演奏会、ウィーン楽友協会「国境なき合唱団特別演奏会」等、势力的に活躍している。藤原歌劇団団員日本オペラ協会会員、練馬区演奏家協会会員。



## メゾソプラノ ● 牧野 真由美

東京芸術大学卒業。同大学院修了。第3回藤沢オペラコンクール奨励賞、第30回イタリア声楽コンクール金賞受賞。ベートーベン『第九』ヘンデル『メサイア』ヴェルディ『レクイエム』などのソリストとして多くのコンサートに出演。小澤征爾指揮サイトウキネンフェスティバル松本「ふれあいコンサート千人の合唱」に出演し『カルメン』を歌唱。またオペラでは多数の公演に出演し好評を博している。浦和フィル定期演奏会には第41回（『カルメン』抜粋）と第50回（ベートーヴェン『第九』）に出演。藤原歌劇団団員。昭和音楽大学非常勤講師。



## テノール ● 村上 公太

東京音楽大学声楽演奏家コースを卒業後、新国立劇場オペラ研修所第6期を修了。文化庁在外派遣研修員としてイタリア・ボローニャに留学し、さらなる研鑽を積む。ジュゼッペ・ディ・ステファノ国際コンクールにおいて『リゴレット』のマントヴァ公爵役を獲得し出演。国内では主に新国立劇場、日生劇場、東京二期会オペラ劇場にて数々のオペラに出演し、多彩な役柄をこなしている。海外ではシンガポール・リリック・オペラに連続出演し高い評価を得た。2023年NHK交響楽団『第九』に出演。ミサやレクイエムなどの宗教曲のソリストとしても活躍中。二期会会員。



## バリトン ● 原田 圭

東京芸術大学卒業。同大学院博士後期課程修了。博士号（音楽）取得。在学中に安宅賞受賞。『藝大メサイア』公演ソリストとしてデビュー。東京文化会館新進音楽家オーディション合格。デビューコンサートに出演。第16回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位、中田喜直賞受賞。第77回日本音楽コンクール入選。多数のオペラをはじめ、バッハ『マタイ受難曲』、ベートーヴェン『第九』等のソリストとして多数出演。ウィーンにてリサイタルを開催。プラハ国立歌劇場管弦楽団とソリストとして共演。千葉大学教育学部音楽科、日本大学芸術学部講師。二期会会員。

## 合唱 ● さいたま市合唱浦和の会 ～浦和の第九 2025 合唱団～

「さいたま市合唱浦和の会」は、1964年に旧浦和市の周辺で活動する多くの合唱団の結集で「合唱浦和の会」として発足。2001年に浦和市、大宮市、与野市が、更に2005年に岩槻市も合併してさいたま市となったことで「さいたま市合唱浦和の会」と名称を変更、今年度で創立60周年を迎えた。①合唱音楽の普及を図り、郷土の文化向上に資する、②会員の育成、相互の連絡ならびに親睦を図る——ことを目的としている。毎年1回4月頃に「春の合唱祭」を市内のホールにて開催、他に、講習会として加盟団体の音楽の向上を図っている。これまでにフォーレ『レクイエム』、ヘンデル『メサイア』、ヴェルディ『レクイエム』などを演奏。また『浦和市民オペラ』に協力して『カルメン』『道化師』『蝶々夫人』などに出演。現在、33団体が加盟。各団は公民館等の活動場所で開催している。

今回、60周年記念として加盟団体と一般の参加希望者を募り「浦和の第九 2025 合唱団」を編成、浦和フィルハーモニー管弦楽団と共演する。

### 学生無料席のお申し込みについて

学生（小学生・中学生・高校生・大学生等）の方へ無料チケットを贈呈いたします（事前予約のみのお取り扱いとし、当日受付はいたしません）。

なお、チケットは電子チケット「teket（テケト）」での提供となりますので、スマートフォン・PC等で電子メールを受信できる方のみお申し込みください。

ご希望の方は浦和フィルホームページ「演奏会のご案内」から〈学生無料席のお申込みはこちら〉をクリックし、必要事項をご入力の上お手続きください。

申込締切：2025年4月26日（土）

※申込者多数の場合は、締切日以前でも受付を終了する場合があります。

浦和フィルHP「演奏会のご案内」 <https://urawaphil.com/concert-info>



### 今後の活動予定

#### 第75回定期演奏会

2025年10月19日（日）昼公演  
彩の国さいたま芸術劇場音楽ホール  
指揮：佐藤寿一

#### 室内楽演奏会

～浦和フィル団員有志による室内楽～  
2026年2月1日（日）昼公演  
彩の国さいたま芸術劇場小ホール

### 託児のお申し込みについて

会場に有料の臨時託児所を設けます。ご利用の方は下記のQRコードよりお申込みください。ご質問等もQRコードよりお問い合わせください。

申込締切：2025年4月18日（金）

※定員数に達した場合は、締切日以前でも受付を終了する場合があります。



### 当団へのお問い合わせ

浦和フィルHP  
<https://www.urawaphil.com/>

